

環境厚生常任委員会

日 時 平成28年10月26日（水）

午後1時30分 ～

場 所 第3委員会室

1 開 議

2 事務局日程説明

3 案 件

（1）病院事業について

4 その他

アユモドキが棲み続ける環境保全事業経費について
(環境厚生常任委員会提出資料)

平成28年10月作成

環境市民部

アユモドキが棲み続ける環境保全事業経費 主な経費の説明

天然記念物緊急調査

アユモドキの生息環境の保全と保護増殖のため、平成 24 年度から文化庁の補助を受けて亀岡市アユモドキ緊急調査検討委員会（委員長：石田紀郎 NP0 法人市民環境研究所代表）を設置して、アユモドキ緊急調査業務を実施した。本調査に係る文化庁補助については、調査概要を含む事業計画を提出し交付決定を受けたものであり、調査内容については委員会の審議を経て決定しています。

主な経費	目的	主な調査項目	現地調査場所等	現地調査日等	主な内容及び成果
アユモドキ緊急調査業務委託料 8,314,920 円 (株式会社地域環境計画)	アユモドキの好適な生息環境を把握するとともに新たな産卵場の可能性を探る。また、外来魚の捕食圧を軽減するための調査を行い生息環境の改善を図る。	アユモドキほか在来種の脅威となる外来魚調査	桂川並びに曾我谷川及びその上流のため池等	5 月 25、26 日、6 月 18 日、7 月 21 日、8 月 14、31 日、9 月 11、12、16 日、10 月 8、10、30 日	曾我谷川等における生息環境改善の基礎資料としてアユモドキの分布状況及び個体識別が可能な DNA 解析のデータ等が集積できた。また、曾我谷川及び外来魚の供給源である上流のため池等で外来魚を捕獲、調査し、効果的な駆除対策を検討した。
		アユモドキ生息状況調査	曾我谷川及び支川等	5 月 23、26、27 日、6 月 29、30 日、7 月 24、25 日、8 月 24、25 日、9 月 19、24、25 日、11 月 19、20 日	
		新たな産卵場の検討調査	曾我谷川	第 1 回 6 月 2～15 日 第 2 回 6 月 29 日～7 月 8 日	
		本川部及び支川の生息状況調査（環境 DNA 調査）	曾我谷川、桂川及びその支川	9 月 1、14 日、12 月 10、16 日	
		桂川支川湧水状況調査	桂川支川	1 月 29 回	
		物理環境（マイクロハビタット）調査	曾我谷川	9 月 29、30 日、10 月 5、9 日	

※マイクロハビタット：微生物場所

亀岡市都市計画公園整備に関連する調査

都市計画公園「京都・亀岡保津川公園」整備にあたり、平成 25 年 5 月に京都府と共同で亀岡市都市計画公園及び京都スタジアム（仮称）整備に係る環境保全専門家会議（座長：村上興正京都府環境審議会委員）を設置して、計画事業による影響回避と安定的な個体群に転換できる積極的な改善策を検討するための業務を実施した。なお、3 箇年の調査、検討結果を基に取りまとめた「亀岡市都市計画公園及び京都スタジアム（仮称）の整備計画の策定にあたり考慮すべき基本方針（Ver2）＜「アユモドキ等の自然と共生する公園・スタジアム」の実現に向けて＞」を、第 31 回環境保全専門家会議（平成 28 年 9 月 6 日開催）の議論を経て、近く公表する予定です。調査内容については専門家会議の意見を聴取し決定したものです。

主な経費	目的	主な調査項目	現地調査場所等	現地調査日等	主な内容及び成果
亀岡市都市計画公園整備に係るアユモドキ生息環境調査業務委託料 28,536,840 円 (アジア航測株式会社 京都支店)	今までに実施した調査及び既存の知見並びに本年度の調査結果を基に、都市計画公園「京都・亀岡保津川公園」整備事業によるアユモドキの仔稚魚期の生息環境に及ぼす影響回避と安定的な個体群に転換するための積極的な改善策について検討するために実施。	業務 1 ※別紙のとおり 水生生物重要種（希少種等）の生息状況調査	曾我谷川及び都市計画公園内水路	※別紙のとおり	アユモドキの発育段階に応じた生息環境について、各河川及び水路毎に物理環境（構造、水深、流速、底質など）、餌生物（動物プランクトンや底生動物）、水田との関係等を調査し、都市計画公園整備にあたって考慮すべき基本方針を検討した。
		業務 2 ※別紙のとおり アユモドキの仔稚魚期の生息場としての水路ネットワーク評価	都市計画公園内水路	※別紙のとおり	
アユモドキ水路利用等状況調査業務委託料 2,376,000 円 (フィールド環境株式会社)	アユモドキの農業用水路利用状況と成育の関係を把握するために実施。	アユモドキ遡上降河調査	都市計画公園内水路	7 月 2、10、17、25、31 日、8 月 5、8、14、21、27 日、9 月 4、16 日	アユモドキ（稚魚期）が農業用水路を遡上する実態について、水深、流速等の環境条件を把握するデータが収集できた。
		物理環境測定	都市計画公園内水路	7 月 2、10、17、25、31 日、8 月 5、8、14、21、27 日、9 月 4、16 日	

アユモドキ等の生息環境再生 整備実験施設整備業務委託料 6,057,966 円 (亀岡市保津地域アユモドキ保全協議会)	共生ゾーン整備のために実施 するアユモドキ等の生息環境 再生整備実験のための実験場 施設整備を実施。	アユモドキ等の生息環境再生 整備実験施設整備（その３） 及び実験場の陸生植物の植付 業務	実証実験地	5 月 15 日～9 月 30 日	共生ゾーンの整備に向け、既設の A 10、A3、A2 実験地の改善及び水位 条件の異なる A6 実験地を新設した。
		アユモドキ等の生息環境再生 整備実験施設整備（その４）	実証実験地	3 月 10 日～3 月 31 日	
アユモドキ等の生息環境再生 整備実験のモニタリング調査 業務委託料 12,754,800 円 (株式会社ラーゴ)	生息環境再生整備実験のモニ タリング調査を行い、その結 果を整理・検討し、都市計画 公園「京都・亀岡保津川公園」 内の共生ゾーンの基本設計の 策定に役立てるデータを収集 するために実施。	繁殖実験地への進入・産卵状況お よび繁殖場の規模等調査	実証実験地	6 月 5～8 日（3 昼夜）	各実験地においてアユモドキの繁殖 に関する生態が確認でき、共生ゾー ンの整備に役立てるデータを収集す ることができたとともに、次年度の実験 に向けて実験地の改善策を検討した。
		仔稚魚の生息・成育状況調査	実証実験地	6 月 22 日、7 月 2、3 日	
		中干し減水時稚魚移動調査	実証実験地	7 月 16、17 日	
		落水時魚類調査（減水時の稚 魚取り残し等確認）	実証実験地	9 月 16 日	
亀岡市都市計画公園整備に係 る動植物保全対象種調査等業 務委託料 8,797,680 円 (アジア航測株式会社 京都支店)	都市計画公園「京都・亀岡保 津川公園」整備事業に際し、 特に影響を受けると考えられ るアユモドキ以外の重要種の うち、保全対策を検討すべき 保全対象種の選定のために実 施。	資料収集整理 （動物・植物種リスト作成、 重要種等確認位置図作成、専 門家の意見整理） 保全対象種候補の抽出 （保全対象種候補の選定の考 え方の整理、保全対象候補種 の選定）	対象エリア （おおよそ年谷川左岸から府 道郷ノ口余部線まで、亀岡駅 北土地区画整理事業用地を含 む桂川から J R 線までの区 域）		保全対象種を選定する候補種として 77 種類を選定 魚類 16 種類、底生動物 9 種、昆虫 類 35 種類、両生類 3 種、哺乳類 2 種、植物 10 種、藻類 2 種

亀岡市都市計画公園整備に係るアユモドキ生息環境調査

業務1 業務名：水生生物重要種（希少種等）の生息状況調査	
魚類相調査	6月20、27日、7月3、14、15日、8月10、15、16日、9月10、12日、10月6日
底生動物調査	8月15、16日、9月10、12日、10月6日
両生類調査	6月13日、7月22日、10月8日
業務2 業務名：アユモドキの仔稚魚期の生息場としての水路ネットワーク評価	
アユモドキ仔稚魚成育状況調査	6月20、27日、7月3、14、15日、8月15、16日、9月10、12日
水路の物理環境調査	6月17、25日、7月14日、8月4、10日、9月12日
底生動物調査	7月13日、8月10日、9月10、12日、10月6日
動物プランクトン等調査	6月17、25日、7月13日、8月3、10日

亀岡市アユモドキ緊急調査検討委員会名簿

	氏 名	所 属 団 体	役 職
委員長	イダノ 紀郎 石田 紀郎	NPO法人市民環境研究所	代表理事
委員	イワタ 明久 岩田 明久	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科	教授
委員	オニシ 信弘 大西 信弘	京都学園大学バイオ環境学部バイオ環境デザイン学科	教授
委員	タケノ 洋史 竹林 洋史	京都大学防災研究所附属流域災害研究センター	准教授
委員	ワタベ 勝敏 渡辺 勝敏	京都大学大学院理学研究科	准教授
委員	マツダ マサカリ 松田 マサカリ 征也	滋賀県立琵琶湖博物館	総括学芸員
委員	アベ 司 阿部 司	株式会社ラーゴ	研究室室長
指導監督者	江戸 謙顕	文化庁文化財部記念物課	調査官
行政	岸岡 貴英	京都府教育庁指導部文化財保護課記念物担当	副課長
行政	木下 泰	京都府南丹土木事務所河川砂防室	室長
行政	遠藤 誠	環境省 近畿地方環境事務所 野生生物課	課長
行政	宮下 央章		係員

亀岡市都市計画公園及び京都スタジアム（仮称）に係る環境保全専門家会議

（委員）

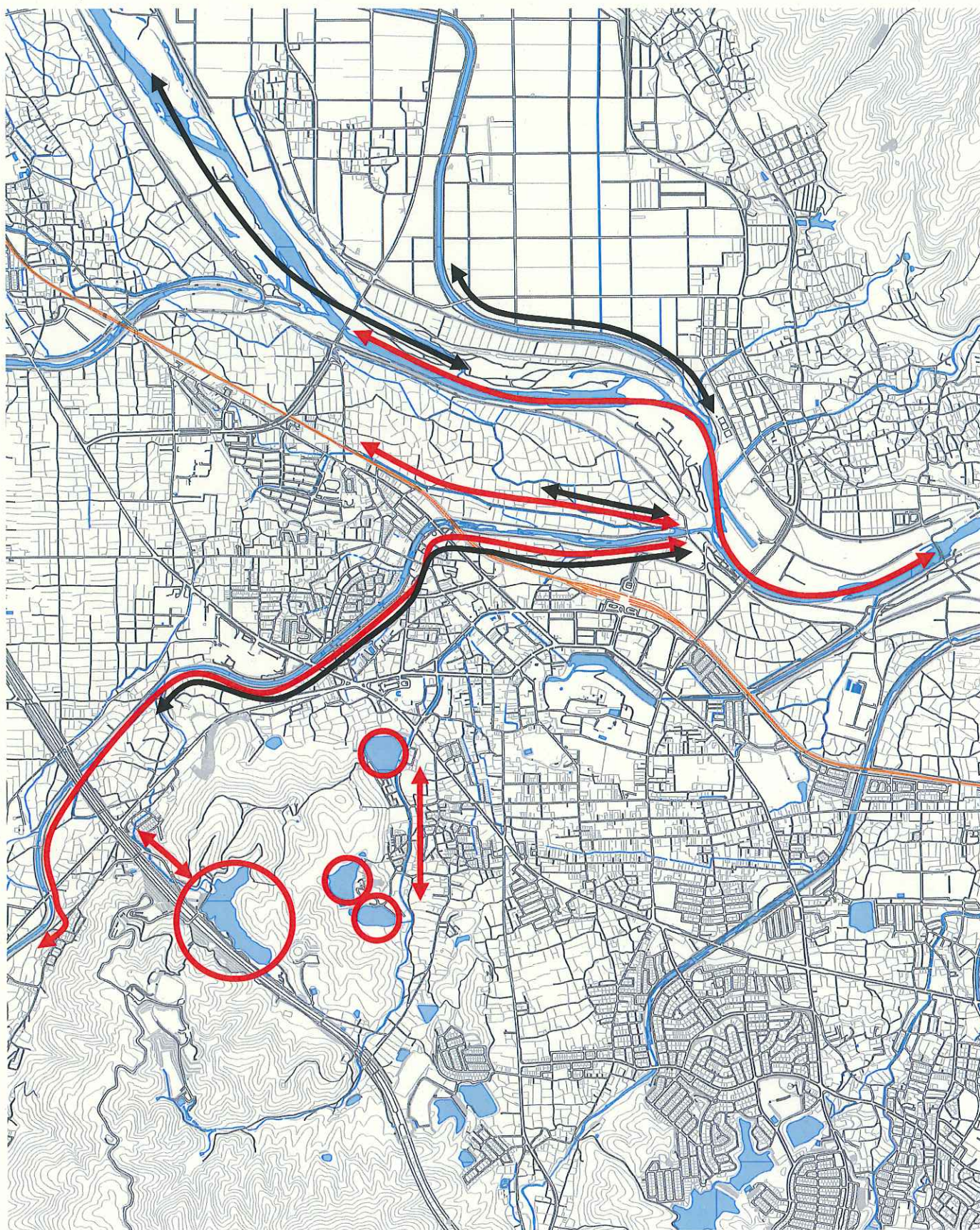
氏 名	所 属	
岩田 明久	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科教授	
竹林 洋史	京都大学防災研究所流域災害研究センター准教授	
竹門 康弘	京都大学防災研究所水資源環境研究センター准教授	
辻村 茂男	京都学園大学バイオ環境学部バイオ環境デザイン学科准教授	
平井 規央	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科准教授	
堀野 治彦	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授	
松井 正文	京都大学名誉教授	
松田 征也	琵琶湖博物館総括学芸員・事業部長	
光田 重幸	同志社大学理工学部環境システム学科准教授	
村上 興正◎	京都府環境審議会委員	

◎座長

（オブザーバー）

氏 名	所 属	
江戸 謙顕	文部科学省文化庁文化財部記念物課文化財調査官	
前菌 博幸	農林水産省近畿農政局農村振興部農村環境課長	
岡崎 慎一	国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所河川環境課長	
遠藤 誠	環境省近畿地方環境事務所野生生物課長	

亀岡市アユモドキ緊急調査検討委員会に係る調査位置図



赤：外来魚調査
黒：その他の調査

亀岡市都市計画公園整備に係る調査等位置図

